

令和6年度予算の概要

二松学舎創立 140 周年(平成 29 年 10 月)を機に策定した新長期ビジョン「N'2030 Plan」、① N'2020 Plan の基本理念、フレームワーク等の踏襲 ②教育の方向性と充実策 ③包括的学生・生徒支援体制の構築 ④キャンパス整備 ⑤財政、人材育成、評価制度、組織、戦略的広報体制等の在り方 の理念・方針に沿って、「アクションプラン」として目標を設定し達成に向け全学的に取り組む。

ガバナンスの充実・強化、財務の安定的な管理・運用、恒常的な寄付金募集体制の強化、補助金の獲得、適切な資金運用、法人財務格付の実施などにより、本学のブランド力の向上及び各設置校の志願者・入学者の増加・安定を目標とする。

キャンパス整備については、大学では学生貸与パソコン(8 千 3 百万円)、九段 PC 教室改修(6 千 4 百万円)、ネットワーク増速回線(4 千万円)、教学システムの更新(4 千 8 百万円)、九段 1・2 号館校舎整備工事 2 億 1 千 6 百万円など、柏キャンパス 1 号館内装工事(3 千 9 百万円)、受変電設備改修工事(2 千 4 百万円)、柏キャンパス構内舗装工事(1 千 6 百万円)などを実施する予定である。また、附属高校では PC 教室の改修(アクティブラーニング教室)2 千 2 百万円、野球部グラウンドフェンスの改修(4 千 3 百万円)、防災設備の保守整備(1 百万円)を、附属柏中学・高校では南校舎空調設備更新(5 千 8 百万円)、北・南校舎トイレ改修工事(1 千 4 百万円)、北校舎屋上防水工事(1 千 7 百万円)などをそれぞれ計画している。

当年度収支については、収入面では、大学、附属高校、柏中学校の在籍者数増加により学納金収入が増加する見込みである。一方、支出面では教職員人件費の増加、キャンパス整備の進捗に伴う校舎・グラウンドの維持管理や情報システム機器の運用・保守による経費増加など、多額の支出が予想される。令和 6 年度特別事業費申請案件については厳しく査定し、経常的な経費についても見直し・削減を実施する。既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを推進するとともに、アクションプランに織り込まれていない投資は極力抑え、不採算事業項目については縮小・廃止を検討し、収支改善を図ることを当年度の予算編成方針とした。

令和 6 年度の収支状況

1. 事業活動収支予算書について(別表 1)

(1) 教育活動収支について

【収入】

- ① 収入の柱である学生生徒等納付金は、約 48 億 2 千 6 百万円となる見込みである。
- ② 手数料は、入学検定料を主として 1 億 2 千 7 百万円を見込んでいる。
- ③ 大学及び両高等学校並びに柏中学校の経常費等補助金は 11 億 2 千 3 百万円を見込んでいる。
- ④ 雑収入は、設備利用料、退職金団体交付金等により 7 千 5 百万円を見込んでいる。

【支出】

- ① 人件費は、法人、大学、附属高等学校、柏中学校・高等学校の教職員給与および退職給与引当金繰入額として 31 億 8 千 7 百万円を見込んでいる。
- ② 教育研究経費は、施設設備の維持管理、ICT 環境整備、情報管理室業務および図書館業務のアウトソーシングほか特別事業費および減価償却額などにより、23 億 5 千万円を計上している。
- ③ 管理経費は、教育研究経費と同様に施設設備の維持管理費と事務システム関連経費、および減価償却額などにより、5 億 2 千 6 百万円を計上している。

これにより、教育活動による収支差額は 1 億 3 千 9 百万円(収入超過)となる見込みである。

(2) 教育活動外収支、経常収支について

資金運用による受取利息配当金収入が 2 億 5 千万円、借入金利息の支払額が 1 百万円となり、経常収支における差額は 3 億 9 千万円(収入超過)となる見込み。

(3) 特別収支について

その他の特別収入として主に施設設備に対する助成金等を 4 千 9 百万円見込んでいる。また、施設設備(備品、図書を含む)の除却額等の固定資産処分差額を 1 千 2 百万円計上している。

これらにより、基本金組入前当年度収支差額は 4 億 2 千 7 百万円を見込んでいる。当年度の基本金組入額は、施設・設備の整備及び教具・器具・備品の取得及び借入金返済などにより 5 億 9 千 7 百万円を計上している。この結果、当年度収支差額は 1 億 7 千万円の支出超過となる見込みである。

2. 資金収支予算書について(別表2)

収入の部は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入、資産運用収入、退職金団体交付金を含む雑収入などにより、当年度収入額は 79 億 5 千 4 百万円となり、前年度繰越支払資金と合わせて収入額合計は 127 億 8 千 8 百万円となる見込みである。

支出の部は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等返済支出、施設・設備関係支出等により、当年度支出額は 80 億 1 千 3 百万円となり、翌年度繰越支払資金は 47 億 7 千 6 百万円となる見込みである。

別表1 事業活動収支予算書

(単位:百万円)

			2024(令和6) 年度予算額	2023(令和5) 年度予算額
教育活動収支	事業活動収入	科 目	金 額	金 額
		学生生徒等納付金	4,826	4,684
		手数料	127	127
		寄付金	48	48
		経常費等補助金	1,123	1,123
		付随事業収入	8	8
		雑収入	75	193
		教育活動収入計	6,206	6,183
	事業活動支出	科 目	金 額	金 額
		人件費	3,187	3,099
		教育研究経費	2,350	2,266
		管理経費	526	526
		徴収不能額等	5	5
教育活動支出計		6,067	5,896	
教育活動収支差額			139	287
教育活動外収支	事業活動収入	科 目	金 額	金 額
		受取利息・配当金	250	270
		その他の教育活動外収入	2	32
		教育活動外収入計	252	302
	事業活動支出	科 目	金 額	金 額
		借入金等利息	1	3
		その他の教育活動外支出	-	-
		教育活動外支出計	1	3
教育活動外収支差額			251	299
経常収支差額			390	586
特別収支	事業活動収入	科 目	金 額	金 額
		資産売却差額	-	23
		その他の特別収入	49	21
		特別収入計	49	44
	事業活動支出	科 目	金 額	金 額
		資産処分差額	12	27
		その他の特別支出	-	-
		特別支出計	12	27
特別収支差額			37	17
基本金組入前当年度収支差額			427	604
基本金組入額合計			△ 597	△ 518
当年度収支差額			△ 170	86
前年度繰越収支差額			△ 2,628	△ 2,713
翌年度繰越収支差額			△ 2,798	△ 2,628
(参考)				
事業活動収入計			6,507	6,529
事業活動支出計			6,080	5,925

別表2 資金収支予算書

(単位:百万円)

科 目	2024(令和6) 年度予算額	2023(令和5) 年度予算額
収入の部		
学生生徒等納付金収入	4,826	4,684
手数料収入	127	127
寄付金収入	48	48
補助金収入	1,169	1,140
資産売却収入	1,300	1,100
付随事業収入	10	10
受取利息・配当金収入	250	270
雑収入	75	223
借入金等収入	1	1
前受金収入	728	747
その他の収入	249	427
資金収入調整勘定	△ 828	△ 963
当年度資金収入合計	7,954	7,814
前年度繰越支払資金	4,834	4,917
収入の部合計	12,788	12,732
支出の部		
人件費支出	3,119	3,148
教育研究経費支出	1,729	1,679
管理経費支出	506	504
借入金等利息支出	1	3
借入金等返済支出	111	299
施設関係支出	499	219
設備関係支出	370	195
資産運用支出	1,633	1,848
その他の支出	390	418
資金支出調整勘定	△ 346	△ 415
当年度資金支出合計	8,013	7,897
翌年度繰越支払資金	4,776	4,834
支出の部合計	12,788	12,732

注) 金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計額等
が一致しない場合がある。